

稲作だより第3号

令和 8 年 9 月 4 日発行

JA 福岡市東部 福岡市農業指導センター農産班

病害虫の発生は全般的に少ない状況です。6 月下旬～7 月上旬までの曇雨天で遅れていた生育も、梅雨明け以降の高温により追いついてきました。日照時間にも恵まれており、**作柄も概ね良好**と思われます。まだ、台風が来る可能性はありますが、早めの作業を心掛けて頂き、乗り切りましょう。

8月31日現在(前原)	気温(℃)			日照時間(hr)			降水量(mm)		
	平年	今年	平年差	平年	今年	平年比(%)	平年	今年	平年比(%)
6月	22.6	22.8	0.2	136.8	114.6	83.8	243.3	307.0	126.2
7月	26.8	28.9	2.1	174.9	249.8	142.8	294.1	231.5	78.7
8月上旬	28.3	30.4	2.1	73.8	78.9	106.9	49.5	0.0	0.0
8月中旬	27.8	27.9	0.1	65	63.1	97.1	73.1	0.0	0.0
8月下旬	26.8	29.4	2.6	64.1	84.9	132.4	88.4	30.0	33.9

※ 8 月下旬の降水量のみ福岡を参考にしております

1. 収穫までの水管理

できるだけ遅くまで間断灌水を継続し、粒を充実させましょう！

- ・ 出穂期後 1 週間ほど過ぎたら間断灌水（入水し自然に水が無くなるまで溜めておき、1～2 日程度水を入れない状態を保つ）を行いましょう。
- ・ 収穫間際（出来れば収穫の 1 週間前）まで間断灌水を行い、落水時期を遅くしましょう。収穫直前まで、籾の粒は充実します！

台風対策

台風シーズン到来です。強風による脱水症状や葉先枯れ、さらには葉先の裂傷などで光合成能力が低下し、くず米が増える懸念があります。**台風襲来時は必ず深水にして稲を保護しましょう。**

稲刈り間際の場合には、台風襲来前に稲刈りを終わらせましょう。

台風対策は前もって行い、**風雨が強い時間帯に圃場に行かないよう**にしましょう。

2. 病害虫の発生状況

(1) イネカメムシ、斑点米カメムシ類

イネカメムシについては、地域・圃場によって発生量にバラツキがあるものの、心配された出穂期の集中飛来は見られませんでした。

斑点米カメムシ類も心配していたほどの発生量ではなく、並～やや少発生となりましたが、畔草刈りは**出穂後 3 週間程度経過して**から行いましょう。草刈りが早すぎるとカメムシに乳熟期から糊熟期の籾を吸われ、斑点米が発生する恐れがあります。



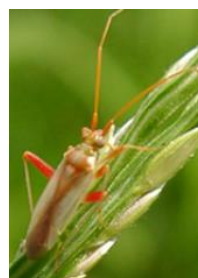
イネカメムシ



ホソハリカメムシ



クモハリカメムシ



アカスジカスミカメ



ミナミアオカメムシ

(2) いもち病・紋枯病

いもち病は全般的に少発生です。紋枯病は一部発生が目立つ圃場もありますが、全般的には並発生です。



穂いもち



紋枯病

(3) トビイロウンカ(秋ウンカ)

現時点で、管内の圃場においては確認できておりませんが、最後まで気を抜かず稲刈りまで田の中を観察しましょう。



トビイロウンカ



坪枯れ

3.収穫適期について

籾の8割程度が黄色になった時期が収穫適期です。適期収穫に努めましょう！

(1) 収穫適期予想 出穂期後の積算気温(9月3日以降は平年値)による収穫適期予想

品種	田植	出穂期	収穫適期予想
夢つくし	5/16	7/23	—
	5/23	7/29	8/28～9/3頃
	6/12	8/13	9/15～9/21頃
元気つくし	5/16	7/29	8/29～9/3頃
	6/6	8/11	9/12～9/17頃
	6/13	8/17	9/20～9/26頃
	6/20	8/19	9/23～9/29頃
ヒノヒカリ	6/6	8/23	9/29～10/5頃
	6/13	8/26	10/2～10/8頃
	6/20	8/27	10/3～10/9頃
ヒヨクモチ	6/13	9/1	10/14～10/21頃
	6/20	9/4	10/18～10/26頃

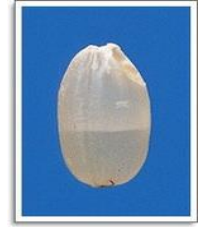
田植え日が同じでも、立地条件、水管理、施肥状況などで出穂期は2～3日変動します。今年は特に圃場内、圃場間における出穂のバラツキが大きいようです。ご自分の圃場を確認して、上記表を参考に稲刈りを行って下さい。

※今後も高温傾向が続いた場合、上記より収穫適期が早まる可能性があります。

4. 等級を低下させる要因

(1) 胴割れ（立毛胴割れ）

早期落水した場合に、田んぼの中で胴割れが発生します。**できる限り落水時期を遅くし、適期収穫**を行いましょう。収穫日近くまで水をためておくことで、粒張りも良くなります。刈遅れも胴割れ粒が発生しやすくなります。



【胴割れ粒】

(2) ヤケ米

収穫した籾を炎天下に置いていたり、コンバイン袋に入れて放置していると、カビや細菌等の微生物の影響により、ヤケ米が発生します。

収穫後は出来るだけ早く（出来れば収穫後2～3時間以内）乾燥機に入れましょう!!

5. 収穫機の掃除と収穫期の安全対策

清掃や点検を徹底し、事故を防ぎましょう!!

- (1) コンバインや乾燥機・粃摺機の清掃を十分に行い、異物等の混入や、コクゾウムシ等の害虫が発生しないようにしましょう!!
- (2) コンバイン作業は、巻き込まれ事故や転倒・転落、**移動時には周囲の安全確認を十分に**行いましょう！作業中に**詰まったらエンジンを切り点検する**事を徹底しましょう！
- (3) コンバイン等を**バックさせる場合**には、周囲に知らせるため**ホーン**を鳴らしましょう。

6. 乾燥について

適正水分に乾燥するために（水分 15.0%仕上げの場合）機種・メーカーにより異なります

青米粒数(100粒中)	乾燥仕上設定水分	乾燥停止後の水分変化
0-5粒	15.5-15.1%	0.5%程度乾く
6-10粒	15.0-14.6%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.5%	0.5%程度戻る

① 上表のように、青米の入り方によって乾燥機を止めた後に水分が増減します

青米の入り方によって、乾燥仕上設定水分を調整しましょう。乾燥機の水分計と手持ちの水分計には誤差がある事があります。

水分18～19%時に一度乾燥機を6時間程度止め、粃水分を均一化しましょう。

その後、**16%時にもう一度止め、手持ちの水分計で水分を測定し誤差を把握**しましょう。

水分計は土井倉庫・多々良支店・月隈支店にもありますのでご活用下さい。

② **張込量に見合った穀物量ダイヤル**に設定しましょう。

基本的な事です、張込量が半分ぐらいであるにも関わらず、穀物量ダイヤルが半分以上を遥かに超えている。そんな事はありませんか？

それでは、熱風温度が高くなり、過乾燥になるだけでなく胴割れも発生してしまいます。

7. 米の出荷について

令和8年産米の集荷に向けて**新規出荷者の募集**を行っております。

また、同時に**令和7年産以前の米の集荷も行っております**。古米は出荷して頂き、**皆様方には、新米を味わっていただきたい**と考えておりますので、是非ご出荷下さい。

集荷に関するお問い合わせは営農生活課へお願いいたします。

JA 米栽培基準について

種子更新・農産物検査の受検・栽培管理表の記帳の 3 つの要件を満たしたお米を、JA 米として扱います。

- ① 肥料・農薬生産資材は原則として、こよみ・資材の注文票に記載されているものを使用すること。記載されていない資材等を使用する場合は、使用基準を厳守すること。
- ② 適期適量施肥及び農薬の適正使用と飛散防止対策を徹底すること。
- ③ 適期収穫に努め、米袋で出荷する場合は表示が正しいか確認すること。
- ④ 栽培履歴に記入漏れや間違いがないか確認すること。
- ⑤ JA 米とそれ以外を区分して JA に出荷すること。

地球温暖化防止 稲わらは秋にすきこみ、腐熟を進めましょう!!

(田植え後、メタンガスの発生が少なくなり、**地球温暖化防止**に役立ちます。)

営農情報について

①最新の情報を LINE でお届けいたします。

営農情報（稲作だより等）を「JA 福岡市東部 営農情報」の LINE でも発信しております。**下記の QR コードから LINE のご登録をお願いいたします。**



②稲作だより等の情報が下記の QR コードよりご覧いただけます。



※今後の発行スケジュールですが、「**稲作だより 4 号**」を**年末**にと考えておりますので、ご参考下さい。

ー内容に関する問い合わせは営農生活課 または各支店の営農経済担当者へー